

理事長あいさつ

平成 13 年 4 月に独立行政法人として新たに発足した海上技術安全研究所は 5 年目を迎え、ここに平成 16 年度の研究開発活動状況をご報告申し上げます。当研究所は、海上輸送の安全の確保及びその高度化を図るとともに、海洋の開発、海洋環境の保全に資することを目的として、平成 13 年度を初年度とする中期目標が国土交通大臣から示されました。私共はこの中期目標を達成すべく研究開発に邁進して参りました。

平成 16 年度には、上記目標の効率的な実施のため、原子力研究機能の三鷹地区への集中や、グループの統廃合等の組織再編を行うと共に、国際基準関連業務の増大に対応するため国際基準担当研究主幹の設置、施設管理の一元化のため施設安全課を設置致しました。また、研究成果がその後具体的にどのような成果を上げているかを把握するため、研究終了後 2 年経過した主な研究 20 課題について、その後の成果と波及効果についての調査を行いました。

現在、さらに高い次元での中期計画達成を目指すとともに、本年は現在の中期計画の最終年度にあたるため次期中期計画を視野に入れ、次の 3 点を重点的に実行している次第です。

- ➡ 社会・行政ニーズに対応した研究への重点化
- ➡ 知的財産の創造とその発信源
- ➡ 成果の社会還元

上記 3 つの重点項目を実行するため、職員一人一人が常に自己研鑽に怠ることなく、今期中期計画の確実な達成を目指すとともに、次期中期計画に向け新たな取り組み及び人材の育成に挑戦して参ります。

この年報をご覧になってのご意見、ご要望とあわせまして、当研究所に対する皆さまの一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成 17 年 9 月

独立行政法人 海上技術安全研究所
理事長 中西 堯二